

四半期報告書

(第41期第1四半期)

自 平成23年5月1日

至 平成23年7月31日

株式会社グリーンクロス

福岡市中央区小笹五丁目22番34号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 2

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 3
- 2 経営上の重要な契約等 3
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 3

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 4
- (2) 新株予約権等の状況 4
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 4
- (4) ライツプランの内容 4
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 4
- (6) 大株主の状況 4
- (7) 議決権の状況 5

2 役員の状況 5

第4 経理の状況 6

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 7
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 9
 - 四半期連結損益計算書 9
 - 四半期連結包括利益計算書 10

2 その他 13

第二部 提出会社の保証会社等の情報 14

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成23年9月13日
【四半期会計期間】	第41期第1四半期（自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日）
【会社名】	株式会社グリーンクロス
【英訳名】	GREEN CROSS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 久保 孝二
【本店の所在の場所】	福岡市中央区小笹五丁目22番34号
【電話番号】	092-521-6561
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 松本 光一郎
【最寄りの連絡場所】	福岡市中央区小笹五丁目22番34号
【電話番号】	092-521-6561
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 松本 光一郎
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神二丁目14番2号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第1四半期連結 累計期間	第40期
会計期間	自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日	自 平成22年5月1日 至 平成23年4月30日
売上高（千円）	1,530,900	6,461,942
経常利益（千円）	41,548	455,522
四半期（当期）純利益（千円）	19,839	245,715
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	26,610	244,200
純資産額（千円）	3,257,586	3,321,435
総資産額（千円）	5,500,502	5,805,654
1株当たり四半期（当期）純利益金 額（円）	4.61	57.04
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—
自己資本比率（%）	59.2	57.2

（注）1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第40期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、第40期第1四半期連結累計期間については記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

なお、当社は、前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期比較増減につきましては、記載しておりません。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響によるサプライチェーンの混乱や原子力災害の影響、電力供給制約の他、原材料価格の高騰等により極めて厳しい状況で推移致しました。

当社グループが関係する安全機材業界及びサインメディア業界におきましても、公共投資の削減や民間設備投資の減少等依然厳しい状況が続いております。

このような経営環境下において、当社グループはその企業使命全うへと、根源コアスキルとするサインメディア事業におきまして、国内37拠点のネットワークを活用した提案型営業の一層の推進と共に、グリーンクロスロジスティクス鳥栖の機能力を活かし、九州エリアを中心とする物流の集約を図り、グリーンレンタル事業の一層の推進に努め、販路の拡大・深耕を積極果敢に推進致しました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,530百万円、営業利益37百万円、経常利益41百万円、四半期純利益は19百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間は、「第4 経理の状況」において四半期キャッシュ・フロー計算書を作成していないため、キャッシュ・フローの状況に関する分析・検討内容は記載しておりません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数 (株)
普通株式	9,716,600
計	9,716,600

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数 (株) (平成23年7月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成23年9月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	4,512,640	4,512,640	福岡証券取引所	単元株式数100株
計	4,512,640	4,512,640	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成23年5月1日～ 平成23年7月31日	—	4,512,640	—	697,266	—	660,866

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は、第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年4月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成23年7月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 205,000	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 4,307,600	43,076	—
単元未満株式	普通株式 40	—	—
発行済株式総数	4,512,640	—	—
総株主の議決権	4,307,600	43,076	—

(注) 「単元未満株式」の欄の普通株式は、自社保有の自己株式であります。

② 【自己株式等】

平成23年7月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社グリーンクロス	福岡市中央区小笹五丁目22番34号	205,000	—	205,000	4.54
計	—	205,000	—	205,000	4.54

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

なお、第40期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書については記載しておりません。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年5月1日から平成23年7月31日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年5月1日から平成23年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	612,685	454,565
受取手形及び売掛金	※2 1,556,409	※2 1,434,277
商品及び製品	670,613	698,756
レンタル品	401,072	370,908
原材料及び貯蔵品	107,894	118,521
その他	114,866	97,755
貸倒引当金	△29,020	△36,959
流動資産合計	3,434,521	3,137,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	481,868	473,911
土地	1,318,253	1,318,253
その他（純額）	36,783	45,512
有形固定資産合計	1,836,905	1,837,676
無形固定資産		
のれん	29,039	27,396
その他	126,435	118,273
無形固定資産合計	155,474	145,669
投資その他の資産		
投資有価証券	225,303	235,678
その他	227,235	211,066
貸倒引当金	△73,784	△67,413
投資その他の資産合計	378,753	379,332
固定資産合計	2,371,133	2,362,677
資産合計	5,805,654	5,500,502

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 1,354,133	※2 1,231,784
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	99,996	99,996
未払法人税等	20,535	9,308
賞与引当金	135,000	63,000
役員賞与引当金	18,000	—
その他	487,151	194,424
流動負債合計	2,114,816	1,898,512
固定負債		
長期借入金	366,672	341,673
長期未払金	2,730	2,730
固定負債合計	369,402	344,403
負債合計	2,484,218	2,242,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	697,266	697,266
資本剰余金	662,208	662,208
利益剰余金	2,064,558	1,993,938
自己株式	△100,277	△100,277
株主資本合計	3,323,756	3,253,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,430	4,332
その他の包括利益累計額合計	△2,430	4,332
少数株主持分	108	117
純資産合計	3,321,435	3,257,586
負債純資産合計	5,805,654	5,500,502

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)
売上高	1,530,900
売上原価	922,421
売上総利益	608,478
販売費及び一般管理費	571,210
営業利益	37,268
営業外収益	
受取利息	16
受取配当金	1,909
為替差益	468
雑収入	3,462
営業外収益合計	5,857
営業外費用	
支払利息	1,249
雑損失	327
営業外費用合計	1,577
経常利益	41,548
税金等調整前四半期純利益	41,548
法人税、住民税及び事業税	6,945
法人税等調整額	14,755
法人税等合計	21,700
少数株主損益調整前四半期純利益	19,847
少数株主利益	8
四半期純利益	19,839

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,847
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	6,762
その他の包括利益合計	6,762
四半期包括利益	26,610
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	26,601
少数株主に係る四半期包括利益	8

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年7月31日)
1. 保証債務 銀行借入に対する保証債務 従業員 502千円	1. 保証債務 銀行借入に対する保証債務 従業員 402千円
※2. 連結会計年度末日満期手形 連結会計年度末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が連結会計年度末残高に含まれております。 受取手形 48,463千円 支払手形 18,624千円	※2. 四半期連結会計期間末日満期手形 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。 受取手形 36,165千円 支払手形 8,537千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は、次の通りであります。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)	
減価償却費	22,366千円
のれんの償却額	1,643千円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年7月28日 定時株主総会	普通株式	90,459	21.00	平成23年4月30日	平成23年7月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)

当社グループは、道路安全資材、建築防災用品、保安用品、保護具及び各種看板・標識等サインメディアの製作、販売、レンタルを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額	4円61銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	19,839
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	19,839
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,307

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年9月12日

株式会社 グリーンクロス

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 淵 輝 夫 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 昭 彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社グリーンクロスの平成23年5月1日から平成24年4月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年5月1日から平成23年7月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年5月1日から平成23年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社グリーンクロス及び連結子会社の平成23年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成23年9月13日
【会社名】	株式会社グリーンクロス
【英訳名】	GREEN CROSS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 久保 孝二
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	福岡市中央区小笹五丁目22番34号
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神二丁目14番2号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役久保孝二は、当社の第41期第1四半期（自平成23年5月1日 至平成23年7月31日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。